

# 新型コロナウイルス感染症対策についての要求

## 日本退職者連合

新型コロナウイルス感染症の流行は、わが国における感染症対策の脆弱性、ひいては公衆衛生制度の質的な劣化を露呈させました。この背景には、効率や収益性のみを重視した新自由主義的な政策が採用され、病院・病床、保健所、介護施設、研究機関などの予算や人員が削減されてきた経過があります。感染症に罹患した場合、高齢者や生活習慣病・慢性的な疾病を持った健康弱者は重症化する可能性が大きいとされています。健康弱者を含めた万人のための普遍的公衆衛生制度の確立をもって将来の感染症流行に備えるべく以下のように提し、連合とも連携して取り組みます。

1. 政府は、感染拡大防止の果敢な対策とあわせて、事業継続や国民生活の必要にして十分な支援と補償ができるような予算措置をとること。
2. 休業措置などによる日常生活への影響を緩和するため、食料、医薬品など日用必需品の生産・供給体制を予め確立しておくこと。
3. 自治体は、感染症の流行は地域間で異なることを踏まえ、正確な実態把握に努め、政府に準じた措置をとること。
4. 政府、自治体は正確かつ迅速に情報を公開し、一般市民とのコミュニケーションの確立に努めること。
5. 普遍的な公衆衛生制度を確立するため、医療・保険施設の整備や研究機関の充実に向け、人材育成を含めた政策を推進すること。
6. 感染症の正確な実態把握と給付等の支援・補償策の迅速な実行のため、デジタル技術やデータの活用を促進すること。
7. PCRなどウィルス検査体制を充実させるため、保健所と医療機関の連携を強化し、併せて試験薬等の開発・備蓄を進めること。
8. 感染症治療を行う病院等における医師や看護師等の安全を確保するため、防護服、医療用マスクなどの器材を予め準備しておくこと。
9. 軽症や無症状のウィルス陽性者の一時収容が可能な施設を予め設定しておくこと。
10. 重篤化した患者の措置に速やかに対応できるように、専門病床や人工呼吸器などの医療器材の充実をはかること。
11. 感染症の予防や拡大防止に向けたワクチン、抗ウィルス剤の研究開発の体制を整えること。

以上